

2005年 全修協 白神山地環境学習セミナー

実施の概要

1. 目的
修学旅行を通して、児童生徒の環境保全に対する思考力・判断力・実践力を育成するために、現地の人々と交流を図りながら、環境教育に関する指導内容・指導方法に関する研修会を実施する。
2. 主催 財団法人 全国修学旅行研究協会
3. 後援 能代市、秋田県観光連盟、能代山本地区観光連盟、関東地区公立中学校修学旅行委員会
4. 協力 全日本空輸（株）、近畿日本ツーリスト（株）

5. 実施期日 平成17年8月18日（木）～20日（土） 3日間
6. 参加人数 20名（東京都・神奈川県・栃木県の公立中学校先生、全修協）
7. 実施箇所 能代市、藤里町、八森町、深浦町、西目屋村 他
8. 講師 鎌田孝一氏（白神山地のブナ原生林を守る会 理事長）
工藤英美氏（NPO法人白神ネイチャー協会 会長）
斎藤栄作美氏（白神山地世界遺産センター藤里館白神自然アドバイザー）
福司和夫氏（風の松原に守られる人々の会）
戎屋鉦希氏（能代市観光推進室 室長）
9. 研修箇所 能代市：農家レストラン星場台、サンウッド能代、風の松原
藤里町：白神山地世界遺産センター藤里館、岳岱自然観察教育林、白神ぶなの学校
八森町：ぶなっこランド、二つ森登山口
深浦町：十二湖
西目屋村：暗門の滝
弘前市：津軽藩ねぶた村

セミナーの概要

8月18日（木）秋田空港からバスで能代市に移動し、12時、桧山地区の古民家を改修した農家レストラン・民宿星場台で、昼食をとりながら参加者の自己紹介を行った。食事後、経営者野村良子氏より、氏が実践している桧山地域のグリーンツーリズム活動の説明を受けた。

その後、市内の「サンウッド能代」に移動、3日間にわたるセミナー・研修がスタートした。

まず、当協会の中西理事長が挨拶を行った後、今回のセミナー受入れと、全行程同行いただく能代市の戎屋観光推進室長が趣旨説明を行った。また、このセミナーには、市からの呼びかけで能代市民の参加もあり、会場はほぼ満員の状態だった。

最初に鎌田孝一氏から、「白神山地のかかわる問題点」として、自らスライドを操作しながら講演をいただいた。

鎌田氏は「白神の原点は水。水が大きな問題だった」と切り出し、春秋林道建設に反対した経緯や、国有林の伐採がもたらした問題などを説明された。

また、白神山地は観光地ではないのに、近年、ワンピースにハイヒールで来る人もいる。地域の気持ちかわからない人がいると苦言も呈され、地域の水がめを守ることがいかに大切か、熱っぽく語られた。

続いて工藤英美氏から「世界自然遺産白神山地のたどった道程」と題して、OHPを使用し、解説図、説明資料を示しながら講演をいただいた。

工藤氏は、八森町が春秋林道建設に向かった経緯や、大昔の北日本全体が、海岸線から山腹にいたるまでブナの森に覆われており、その証拠を白神山地で確認できることを、スライドを見せながら説明された。

また、前日、首都圏の男性二人が入山、遭難したことに触れ、「核心地域に溪流釣りに入っていたよ

うだ」とルール違反が絶えないことを問題提起された上で、入山者の排泄物が環境に及ぼす影響の怖さなどを説明された。

中西理事長の挨拶



鎌田孝一氏の講演



工藤英美氏の講演



約3時間のセミナーを終了後、福司和夫氏の案内で、能代の人々が300年にわたり、能代海岸の760haに700万本の松を植えて維持してきた砂防林「風の松原」を約1時間徒歩で見学した。

初日の最後として、豊澤能代市長、児玉能代市環境産業部長、土崎能代市商工港湾課長に出席いただき、意見交換会を実施。後、宿舎に移動した。

8月19日(金)8時に宿舎を出発、藤里町の「世界遺産センター藤里館」で斎藤栄作美氏と合流。センター内の展示をもとに白神山地の概要の説明を受け、「岳岱自然観察教育林」に移動した。バス車内では、ブナと杉の植生や今の森林の状況、また、廃止になった森林鉄道や鉾山の関わった歴史など、一つひとつ車窓から確認しながら説明を聞いた。

「岳岱自然観察教育林」では、斎藤氏の案内で約1時間40分をかけ、フィールドワークを行った。途中林の中で驟雨にあったが、ブナの葉が雨を防ぎ、雨の音だけが聞こえるという、不思議な体験をし、かえってブナ林のありがたみを知る機会となった。

帰路、藤里町の「白神ぶなの学校」に立ち寄った。ここは元藤里町立坊中小学校で、廃校になった建物を有志で買取り、町の支援も受けながら、元の教室を極力残したまま自然や農業を体験できる施設として、各地から子どもたちを短期・長期滞在の受入できる施設として運営されている。

参加者は、きりたんぼ作りを体験し、地元藤里町の他の食材と共に昼食としていただいた。

再びバスで移動し、八森町の「ぶなっこランド」に到着。前日のセミナーの講師、工藤英美氏と合流。バスに同乗してもらい、青秋林道を「二つ森登山口」に向かった。

車中では、昨日の講演内容と関連する林道工事の初期の目的、工事による崩落現場や、植林杉と天然杉、ブナ林との境界等の説明を受けながら、二つ森登山口に到着した。

青秋林道工事中止の現場で説明の後、白神山地の核心地域に隣接する二つ森に入り、核心地域を望みながら、周囲の景観を含めた説明を受けた。時折、霧で周囲が真っ白になり、地元の人でも時には遭難するという、白神山地の山と気候の厳しさも教えられた。

ぶなっこランドで再び工藤氏の説明を受けた後移動し、夕暮れ近い十二湖で、青池を中心に工藤氏に案内してもらい、本日の宿に向かった。

岳岱自然観察教育林 斎藤栄作美氏ガイド



白神ぶなの学校 きりたんぼづくりと元教室での昼食



二つ森登山口と青秋林道の工事中止地点 工藤英美氏ガイド



8月20日(土)8時に宿舎を出発。鱒ヶ沢町、岩木山麓を経て、西目屋村の「白神山地ビジターセンター」で休憩後、「アクアグリーンビレッジANMON」に到着。

ここから本日のメインであり、今回最も長い徒歩コース「暗門の滝」を目指した。週末ということもあり、乗用車の他に観光バスが駐車場に約30台という大混雑の中、参加者は通常2時間くらいのコースを、約3時間費やして第3から第1の滝往復を、ほぼ全員が踏破した。晴れて気温も高い中、歩き終わって汗だくになった参加者の多くが、ビレッジ付設の温泉で汗を流した。

暗門の滝へ向かって



暗門川歩道



暗門第3の滝



その後、岩木山や周囲のりんご畑を車窓に眺めながら弘前市に移動。弘前城隣接の「津軽藩ねぶた村」に立ち寄った。ねぶた村では、村山理事の案内で大型ねぶたの説明や太鼓の体験、津軽三味線を鑑賞し、一息ついてから大館能代空港に向かった。

空港では、空港会社のご好意で会議室を借用し解散式を行った。今回の感想を述べ合い、また、能代市の児玉部長をはじめ、市の職員の方々にもお見送りをいただき羽田への帰路についた。

(以上)

《今回のセミナーにご協力いただいた方々の連絡先》

- ・能代市観光振興室 TEL：0185-89-2179 URL：<http://www.city.noshiro.akita.jp>
- ・藤里町企画振興課 TEL：0185-79-2111 URL：<http://www.shirakami.or.jp/~fujisato/>
- ・八森町産業振興課 TEL：0185-77-2111 URL：<http://www.shirakami.or.jp/~hatimori/>
- ・能代山本広域市町村圏組合 TEL：0185-89-2316 URL：<http://www.shirakami.or.jp/~kouiki/>
- ・秋田県山本地域振興局 TEL：0185-52-6285 URL：<http://www.pref.akita.lg.jp/ak-shira/>
- ・秋田県観光連盟 TEL：018-860-2267 URL：<http://www.akita-kanko.com>

1993(平成5)年12月、屋久島と並んでわが国初の世界自然遺産に登録された白神山地は、登録にいたるまで様々な困難を乗り越えてきました。代表的なものが春秋林道の建設と、それへの反対運動でした。1982(昭和57)年に計画が発表されてから、ブナ林・水源の保護を目的に、秋田・青森双方で起きた反対運動は、最終的に春秋林道を含むすべての林道計画と、ブナの伐採計画を中止に追い込み、約10年経て世界遺産に登録されるまで活動は続きました。

今回のセミナーは、世界最大級のブナ林を中心とする自然環境が保持されている場所で、原生的自然を体験してもらうとともに、今なお保護活動に取り組んでいる鎌田さんを初め、地域の人々に講師・ガイドという形でお願いすることにより、交流も図りたいとの願いで実施しました。世界遺産条約の目的は、失われつつある自然を保護し、全世界の次世代の人々に引き継ぐこと、遺産は人類一人ひとりの財産である。としています。白神山地は、大人はもとより、児童・生徒にとっても、自然と人の「環境学習」に最も適した場所であると言えます。

今回のセミナー・研修にご協力いただいた能代市をはじめ、多くの皆様に改めて深く御礼申し上げます。

研修日程

日次	スケジュール（講師と主な講演内容）	
第1日 8月18日 (木)	09:05 10:05 11:00 12:00~ 13:25 13:30 13:40~ 14:40~ 15:30~ 16:00~ 17:30	羽田空港発（ANA873便） 秋田空港着 秋田空港発 桧山 農家レストラン「星場台」 能代「サンウッド能代」着 セミナー開始 中西理事長理事挨拶 戎屋鉦希氏趣旨説明 講演：鎌田孝一氏（白神山地のブナ原生林を守る会理事長） 「白神山地の関わる問題点」 講演：工藤英美氏（白神ネイチャー協会会長） 「世界自然遺産白神山地のたどった道程」 質疑 フィールドワーク「風の松原」ガイド福司和夫氏 （風の松原に守られる人々の会） 宿舎
第2日 8月19日 (金)	08:00 08:40~ 09:40~ 11:20 12:00~ 15:00 15:30~ 16:30 17:30~ 18:50	宿舎出発 世界遺産センター「藤里館」フィールドワーク開始 ガイド齋藤栄作美氏合流。見学と説明。 「岳岱自然観察教育林」ガイド案内 岳岱発 藤里 白神ぶなっこ教室（旧坊中小学校） ぶなっこ教室の活動説明、きりたんぼ作り体験（昼食） 八森 ぶなっこランド着 ガイド工藤英美氏と合流・説明 春秋林道中断地点・白神山地核心地域境界「ニツ森」ガイド案内 ニツ森発 十二湖「青池」ガイド案内 宿舎着
第3日 8月20日 (土)	08:00 09:30 10:00~ 13:00 14:00~ 15:00 17:00 18:05 19:30	宿舎出発 鱒ヶ沢町経由 西目屋村「白神山地ビジターセンター」見学休憩 暗門「アクアグリーンビレッジ」着 暗門第3～第1の滝 フィールドワーク 暗門発 弘前 津軽藩ねぶた村着 津軽ねぶた太鼓・津軽三味線等の体験・見学 弘前発 大館能代空港着 空港内会議室にて解散式 大館能代空港発（ANA790便） 羽田空港着